



エリザベト音楽大学

2017年度 大学院公開講座／パフォーマンス・フォーラム

J. S. バッハの作品におけるコラールの技法 講師：フィリップ・シャルー神父

■プロフィール



パリ国立高等音楽院卒業(オルガンと楽曲分析でそれぞれ優秀と最優秀を獲得)。パリの聖イグナチオ教会名誉オルガン奏者。現在、セーヴル・センター(パリ・イエズス会大学)哲学部美学科長として音楽学、音楽美学を教授。エリザベト音楽大学にて数年間、オルガンと楽曲分析を指導。

神学者クリストフ・テオバルドとともに、長年にわたりバッハ作品に関する学際的研究および指導に従事。主著に、『J. S. バッハ—受難の福音書の注釈者』(Vrin, 2016)、および C. テオバルドとの共著による『J. S. バッハの音楽思想—《クラヴィーア練習曲集第3部》におけるルター派の教理問答』(Cerf, 1993)、『J. S. バッハの音楽思想における創造主の理念—ライプツィヒの自筆コラール集』(Mardaga, 2002)などがある。

【日時】 2017年 **10** 月 **30** 日 (月)

18:00~20:00 (17:30開場)

【会場】 エリザベト音楽大学ザビエルホール

(広島市中区幟町 4-15)

入場
無料

- ・ 会場には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。
- ・ 演奏会場での写真・録音・録画は固くお断りします。
- ・ 就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。

【お問い合わせ】

エリザベト音楽大学 学事部演奏活動 〒730-0016 広島市中区幟町4-15

Tel:082-225-8004 Fax:082-221-0947 <http://www.eum.ac.jp/> enso01@eum.ac.jp